

# 白馬

幸手市立吉田小学校 学校だより  
〈学校教育目標〉

☆みんなと仲良くする子 にこにこ  
☆こつこつ勉強する子 わくわく  
☆しっかり運動する子 のびのび

〈令和3年1月8日 1月号〉  
〈児童数〉

男子 38名  
女子 34名  
合計 72名



## 令和3年元旦 晩晴をめざして

校長 二階堂 朝光

今年の元旦は、雲一つない青天に恵まれました。世界恐慌以来の危機とされるコロナ禍ではありますが、その不安を払拭させるかのような素晴らしい幕開けに感じました。この2月から放送される『青天を衝(つ)け』では、渋沢栄一翁の幕末から世界恐慌を生き抜いた波瀾万丈の人生が描かれます。渋沢翁には、今の時代はどのように映るのでしょうか。

渋沢翁は、江戸時代末期に農民(名主身分)から武士(幕臣)に取り立てられ、明治政府では、大蔵少輔事務取扱となり、大蔵大輔・井上馨の下で財政政策を行いました。退官後は実業家に転じ、第一国立銀行や理化学研究所、東京証券取引所といった多種多様な会社の設立・経営に関わり、二松学舎第3代舎長(現・二松学舎大学)を務めた他、商法講習所(現・一橋大学)、大倉商業学校(現・東京経済大学)の設立にも尽力し、それらの功績を元に「日本資本主義の父」と称されます。また、論語を通じた経営哲学でも広く知られています。ノーベル平和賞の候補にも2度選ばれています。令和6年(2024)より新紙幣一万円札の顔となります。

大正5年(1916)に『論語と算盤』を著し、「道徳経済合一説」という理念を打ち出しました。幼少期に学んだ『論語』を拠り所に倫理と利益の両立を掲げ、経済を発展させ、利益を独占するのではなく、国全体を豊かにする為に、富は全体で共有するものとして社会に還元することを説くと同時に自身にも心がけました。『論語と算盤』にはその理念が端的に次のように述べられています。

「富をなす根源は何かと言えば、仁義道徳。正しい道理の富でなければ、その富は完全に永続することができぬ。」

事業の成立には、①国家社会に有益なこと、②担当者に人を得ること、③それ自体で儲かること～の三点をあげ、渋沢翁は「こんなに儲かります」という事業には決まって「国家社会に役立つか」と質し、「こんなに有意義です」という会社には「それだけではいけない。どれだけ儲かるか」と必ず念を押し、「論語」と「ソロバン」を一致させました。

その渋沢栄一翁が晩年好んで揮毫(きごう：筆をふるう意、書画をかくこと)したのが、次の言葉です。

「天意(てんい)、夕陽(せきよう)を重んじ人間、晩晴(ばんせい)を貴(たつと)ぶ」

一日懸命に働き、沈まんとする夕日の美しさは格別です。人間も年とともに佳境に入り、晩年になるほど晴れ渡っていく人生を送るのが尊いこと。「夕陽が没するときに素晴らしい輝きを放つのは天の意志だ。それと同じように人間も輝かしい晩年を輝かしい社会貢献をもって締め括りたいものだ」ということを渋沢翁は言っておられたそうです。

人間は晩年が大事である。若い時に欠点があっても、晩年が良ければその人の価値は上がってくるものである。日中どんな快晴でも夕方に雨がふれば、その日は一日中雨がふっていたように感じられるのと同じで、人間も晩年が晴れやかなものでないと、つまらない人間になってしまうものだ、だから、社会へどれだけ貢献できたかを問えということだと思います。

夕日の美しさは格別です。一日を懸命に照らし続け、西の空を茜色に染めて沈んでいく夕日の美しさは感動的です。それは天が夕日のような生き方を重んじている現れに他なりません。雲一つない元旦は、先行きが見えない今日の不安をかき消すような幕開けでした。コロナ禍で始まった令和2年度もまもなく締めくくりです。渋沢翁の言う晩晴となるよう、今年も「ピンチをチャンス」ととらえ、「どうやったらできるか」を考えながら忠恕の心をもった「吉田っ子の育成に努めてまいります。保護者、地域の皆様より一層のご理解ご協力をお願いいたします。」

### 〈1月17日は防災とボランティアの日です〉

1月17日は「防災とボランティアの日」です。平成7年(1995年)1月17日に発生した阪神・淡路大震災を契機として、毎年1月17日を「防災とボランティアの日」、15日から21日までが「防災とボランティア週間」と閣議で了解され、設けられることとなりました。この「防災とボランティア週間」は、災害時におけるボランティア活動や住民の自主的な防災活動についての認識を深め、災害への備えを充実強化させることを目的としています。最近の出来事としては、大雪によって立ち往生した車で関越自動車道が通行不能になったことが記憶に新しいところです。自衛隊が出動する緊急事態となったわけですが、事態の解決や被災された方への支援は、官の力だけでなく、民、つまりボランティアの力も大きかったと聞きます。菅総理大臣は所信表明演説で、「自助・公助・共助」について言及されていましたが、新型コロナというかつてない脅威にさらされている今、改めて共助の重要性が日に日に増してきていることを感じる今日この頃です。

### 〈1月・2月の主な行事予定〉

- 1 / 1日(金) 元日
- 8日(金) 第3学期始業式  
3時間授業 一斉下校
- 11日(月) 成人の日
- 12日(火) 給食開始
- 13日(水) 委員会活動 発育測定
- 14日(木) 読み聞かせ
- 15日(金) 第3回校内計算大会  
お話の森による読み聞かせ
- 19日(火) SC吉本先生来校
- 20日(水) クラブ活動
- 27日(水) 東中校区教育相談連絡会
- 28日(木) 漢字検定
- 2 / 3日(水) 不審者対応避難訓練  
委員会活動
- 4日(木) 入学説明会・読み聞かせ  
東中校区学校運営協議会
- 5日(金) 東中学校入学説明会  
第4回東中校区合同英語授業
- 10日(水) クラブ活動
- 11日(木) 建国記念の日
- 16日(火) SC吉本先生来校
- 17日(水) 第3回吉田小学校運営協議会  
スピーチコンテスト
- 18日(木) 通学班仮編成
- 20日(土) 校内なわとび大会 薬物乱用防止教室  
授業参観 5時間授業
- 23日(火) 天皇誕生日
- 24日(水) クラブ見学



※2月最終週に懇談会を予定しています。

### 〈算数おもしろ問題〉

2か月ぶりに算数おもしろ問題を出します。新型コロナウイルス感染が拡大する中で、家族でお家で過ごすことも多いでしょうから、ご家族と一緒に考えてみてはいかがでしょうか。

**〈問〉3mの丸太があります。50cmずつ切っていきます。1回切るのに8分かかり、1回切ることによって2分休憩を取ります。全部で何分かかりますでしょうか？**

〈ヒント〉

図で考えると分かりやすいと思います。

### 〈新型コロナウイルス感染防止への協力について〉

7日午後、政府より1都3県を対象に緊急事態宣言が発出されました。前回と違って現時点では、全国的・一斉的なものではなく、限定的・部分的なものとなりそうで、小中学校においても、一律の休校を求めないとのことなので、ほっと胸をなで下ろしたところです。しかし、安心はできません。更なる強い措置に踏み切ることも想像に難しくありません。学校としては今できることをスピード感を持って進めていかなくてはならないと考えています。同時に、感染対策にも学校全体として引き締めを図り、安心して学校に通えるようにしなければなりません。各家庭におかれましては、感染防止対策にご協力くださいますようお願いいたします。

#### 家庭へのお願い

- ・規則正しい生活習慣の徹底(体調不良の際は登校しない・させない)
- ・手洗いの徹底と適切な換気・保湿、マスクの着用
- ・不要不急の外出を避け、可能な限り速やかな帰宅
- ・児童のみの会食等の自粛

